

# 令和4年度 相談支援事業所 事業報告

サポートセンターかすみ

## 相談支援事業コンセプト だれもが安心して暮らせる地域社会

### 1. 重点目標・課題

- ①ニーズの多様化に合わせたその人に合わせた生活。
  - ②幼少期の相談増加に伴い家族支援の強化体制。（親同士のネットワーク体制支援）
  - ③同一家族（親子、兄弟）の相談依頼の増加に伴う支援体制の在り方。
  - ④基幹相談支援センター、委託相談支援事業所、他特定相談支援事業所と共に地域定着支援を活用し、緊急事態等に必要なサービスのコーディネートや相談支援をおこなう。
  - ⑤地域の体制作り
  - ⑥協議会を活用し地域とのつながりを持つ。
  - ⑦利用者のニーズや現状を把握しながら、障害者の視点を重視する。
  - ⑧利用者の満足度の確保と、利用者の身近な存在となり相談の受けやすい体制を目指す。
  - ⑨利用者ニーズの多様化に伴う時間外勤務の対応。フレックスタイムの設定。休日出勤に対する対応。
  - ⑩個々の尊厳を保持し、心身ともに健やかに暮らせるよう、権利擁護・虐待防止に取り組み、普及啓発を行う。
  - ⑪新型コロナウイルス感染防止に努める。事業所等の訪問、ケース会議等の参加時の感染予防対策、ウェブ会議等の利用を推進する。
  - ⑫業務の効率化、相談専門員間の連帯を図る。
- ICT等の有効活用

### 2. 事業・活動実施に当たっての具体的な取り組み

#### （1）事業所体制の整備

サポートセンターかすみとサポートセンター福井東の統合を行った。

サポートセンター福井東の事務所は出張所とし、利便性と迅速な対応につなげ、福井地区利用者へのサービス低下、機能低下を防ぎ、これまで同様の相談業務を努めた。

福井地区相談支援事業所連絡会とのつながりは切れたが、福井地区基幹相談支援センタ

一、福井市の委託相談事業所との連帯は維持し情報収集や協力関係を持ち困難事例の情報共有や協力を得る事を継続できた。

(2) 坂井地区の相談支援体制のネットワーク体制

坂井地区相談支援連絡会に参加し、他相談支援事業所との情報交換、連帯をはかると共に、他福祉事業所や他業種とも情報交換や協力体制を強化しネットワーク体制を構築した。

(3) 地域相談支援（地域定着支援、地域移行支援）

地域定着支援、地域定着支援を活用する相談は無かった。

(4) 緊急の事態における支援等（地域定着支援）

24時間体制を確保しており、休業日の日中に相談等の連絡はあったが、夜間の緊急連絡は無かった。

しかし、大雪により住居への被害、通勤、通院困難に伴う相談があった。

(5) 職員研修計画

事業所内で定期的に勉強会、情報交換、ケース検討会を実施し相談支援専門員のスキルアップ、意欲向上に努めた。

(6) ICTを利用した業務の効率化

タブレットを外出先（相談先）で活用する事で書類を現地で作成する事により業務軽減をはかった。

ただ、Wi-Fi専用機種のため外出先で接続の不便さ、操作方法のスキル不足など課題もある。

(7) その他

地域では、長野県、勝山市、敦賀市、鯖江市、業種では、不動産業、便利屋、行政書士等との連携も多岐に渡り、多様化するニーズに対応した。

相談支援専門員の有資格者の人材を確保するために現任職員が資格更新の研修を早めに受講する取り組みをおこなった。今後、法人内職員の相談支援専門員の後継者育成に対しては、相談支援専門員初任者研修の受講対象者の基準もあり難しさもある。

令和4年度 特定相談支援 活動報告

月	日	記 事
4		
5	21	県相談支援専門員協会 総会・研修会
	23	県知的障がい者福祉協会全大会
	24、30、31	ファミリーセッション研修(講師)
6	16、17	北陸知的障がい者福祉協会 施設長会議 金沢大会
7	11	県知的障がい者福祉協会 相談支援部会
8	19	県サービス管理責任者更新研修 C日程
	31	県知的障がい者福祉協会施設長会議 主管課と語る会
9	1、2	災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識研修
	20	医療的ケア児等支援者研修
	30	令和4年度坂井地区第1回実務者会議
10	10	避難行動支援者に向けた防災力向上研修会
	21	県知的障がい者福祉協会 職員研修会
	28	福井市主管課と語る会
11	21	県相談支援従事者現任者研修 1日目
12	16	県精神保険福祉従事者研修・現任
	21	県相談支援従事者現任者研修 2日目
1	19	県相談支援従事者現任者研修 3日目
2	1、2、3	医療的ケア等コーディネーター養成研修
3	7	県知的障がい者福祉協会 相談支援部会研修
	20	坂井市相談支援事業所集団指導説明会
	23	令和4年度坂井地区第2回実務者会議
	25	県相談支援専門員協会 研修会

毎月第1木曜 拡大サポート会議

毎月第3水曜 坂井地区相談支援事業所連絡会

毎週木曜 サポート会議



# 令和4年度 坂井市就労準備支援事業 事業報告

## 目的

様々な理由により直ちに一般就労への移行が困難な生活困窮者に対して、一般就労に従事する準備として日常生活の改善や基礎能力の形成及び就労意欲の喚起を、計画的かつ一貫して支援し、一般就労につなげることを目的とする。

## 支援内容

就労準備支援プログラムに基づき、支援対象者の個々の状況に応じた個別プログラムやグループ活動を実施する中で、日常生活自立に関する支援、社会生活自立に関する支援、就労自立に関する支援を行う。なお、支援に当たっては、自立相談支援機関によるアセスメントやそれに基づく支援方針を十分に踏まえ、支援の実施状況等、適宜、自立相談支援機関と情報共有し、連携して支援を行う。

### 1. 日常生活自立に関する支援

適正な生活習慣の形成を促すため、うがい・手洗いや規則正しい起床・就寝、バランスのとれた食事の摂取、適切な身だしなみに関する助言・指導を行う。

### 2. 社会生活自立に関する支援

社会的能力の形成を促すため、挨拶の励行等、基本的なコミュニケーション能力の形成に向けた支援や地域の事業所での職場見学、ボランティア活動等を行う。

### 3. 就労自立に関する支援

一般就労に向けた技法や知識の習得等を促すため、実際の職場での就労体験の機会の提供やビジネスマナー講習、キャリア・コンサルティング、模擬面接、履歴書の作成指導等を行う。

## 体制

### 1. 支援拠点：相談支援事業所サポートセンターかすみ（坂井市丸岡町本町 2-50）

副拠点：ネクステクノスタイル事業所（坂井市春江町江留下高道 95-1）

### 2. 人員配置

事業責任者：小林 正人

業務責任者：足田 耕二

就労準備支援担当者：辻本 和美、山本 裕紀子

## 資質向上

### 1. 外部研修

- ◆令和4年6月15日(水) 13:00~15:00  
京都府京丹後市意見交換会
- ◆令和4年9月6日(火) 終日  
令和4年度 自立相談支援事業従事者養成研修  
就労支援員・就労準備支援事業従事者養成研修・オンデマンド配信
- ◆令和4年9月15日(木) 10:00~16:30  
令和4年度 自立相談支援事業従事者養成研修  
就労支援員・就労準備支援事業従事者養成研修・ライブ配信
- ◆令和4年10月20日(木) 14:00~16:00  
令和4年度 坂井市ひきこもり・不登校支援連絡会
- ◆令和4年11月7日(月)・25日(金) 10:00~16:20  
日本財団 WORK! DIVERSITY プロジェクト ダイバーシティ就労支援実践研修
- ◆令和4年12月22日(木) 10:00~16:55 ・23日(金) 10:00~16:25  
令和4年度 生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修  
東海・北陸ブロック別研修
- ◆令和5年1月31日(火) 10:00~16:00  
丸ごと支え合う地域づくり推進セミナー

### 2. 内部研修

- ◆令和4年4月4日(月) 9:00~12:00  
福祉総合相談室研修会
- ◆令和4年12月19日(月) 15:00~16:30  
健康福祉部職員向け重層的支援体制構築研修

### 3. 視察等

- ◆令和4年4月17日(金) 13:00~15:00  
社会福祉法人希望園 見学  
特定非営利活動法人ピアファーム 見学

# 支援対象者

## 支援対象者状況 (上半期)

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
対象者	生活困窮者	4	4	3	3	4	3	21
	生活保護受給者	2	2	3	3	3	2	15
終結	一般就労 (内職含む)	0	0	0	0	1	0	1
	福祉サービス 利用開始	0	1	0	0	1	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0
就労開始 (内職含む)		0	1	2	1	0	0	4
継続		6	5	5	6	4	5	31
新規		0	0	1	0	1	0	2
1カ月あたりの平均利用人数		5.3人						
1カ月あたりの平均利用人数 (定着支援者含む)		6人						

## 支援対象者状況 (下半期)

項目		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
対象者	生活困窮者	3	3	3	3	3	3	18
	生活保護受給者	2	2	2	2	2	2	12
終結	一般就労 (内職含む)	0	0	0	0	0	0	0
	福祉サービス 利用開始	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1	0	0	1
就労開始 (内職含む)		0	0	0	0	0	0	0
継続		5	5	5	4	4	5	28
新規		0	0	0	0	1	0	1
1カ月あたりの平均利用人数		3.7人						
1カ月あたりの平均利用人数 (定着支援者含む)		5人						

1年あたりの平均利用人数	4人
1年の平均利用人数 (定着支援者含む)	5.7人

# 支援内容

## 支援内容件数 (上半期)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
来所相談・面談	6	5	2	2	3	6	24
訪問面談	6	7	16	11	7	6	53
電話(メール)連絡・相談	20	22	31	31	46	23	173
他機関同行	5	7	1	0	2	3	18
就労先等 見学・体験同行	1	0	2	0	0	0	3
他機関との連絡調整	6	9	5	5	10	13	48
プログラム・活動参加数	7	5	5	4	2	2	25
アセスメント実施数	0	0	4	0	3	0	7

## 支援内容件数 (下半期)

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	年合計
来所相談・面談	1	4	5	5	3	4	22	46
訪問面談	7	3	4	3	4	11	32	85
電話(メール)連絡・相談	14	7	27	6	8	18	80	253
他機関同行	3	4	2	3	2	3	17	35
就労先等 見学・体験同行	2	0	0	0	0	0	2	5
他機関との連絡調整	8	10	23	10	4	11	66	11
プログラム・活動参加数	2	1	0	0	0	0	3	28
アセスメント実施数	0	0	0	3	1	0	4	11



## プログラム

- ・個々の状況、ニーズに合わせたプログラム作成を行い、個別支援のウエイトを高めた。
- ・前半については、日常生活自立支援・社会生活自立支援プログラムを基に、対象者との信頼関係構築を図る時間を設けるとともに、生活の活動基盤となる「生活リズムの安定化」、「1日3回の食事の習慣化」等 心身の健康作りの支援を実施。
- ・後半については、会社見学・職場体験への参加を促すとともに、社会との関わりの場を設けることによって、就労意欲へと繋がるための支援を実施。

## グループ活動

- ・個別又は少人数の活動において、心身の体調に合わせて参加を促すことにより、孤独感を感じることなく、対象者間や地域社会との交流を通じて、人の温かさや優しさに触れるとともに、感謝の気持ちを言葉で伝えるための支援を行った。
- ・活動内容については、担当者や支援関係者のみで企画・準備を行うのではなく、意見交換の場を設け、自発性や協調性、社会性等について、自然な形で習得していくための支援を行い、活動を通じてチームワークの素晴らしさを体感する機会を設けた。

## 職場見学・体験

- ・様々な職種の会社見学を行うことにより、就労意欲・就職に繋がったケースが多くみられた。
- ・会社見学や職場体験を通じて、就労形態・職種選択において「様々な可能性や選択肢」があることを実感することで、社会復帰の第一段階へと繋がるための支援を行った。

### <主な活動状況>

- ・グループ活動・・・三国神社ウォーキング & 花見、あわら温泉街ウォーキング & 足湯体験  
千羽鶴贈呈式、丸岡城ウォーキング、枝豆収穫祭、握りずし披露会 等
- ・職場見学・体験・・・(有)ランチサービス 39 丸岡店、(株)H&F、日本エコカ工業(株)、(有)サンテ、  
(有)粋、(株)ルネッサ、第一ビニール(株)、(株)ミルコン、ユニフォームネクスト(株) 等
- ・協力企業開拓数 計 18 社 、企業啓発活動件数 計 87 社

## 成果と課題

- ・年間を通じて対象者が 10 名以下であったため、個々の特性に合わせた支援を提供できた。
- ・対象者の特性を早期に発見し「受診・診断」へと繋げ、「自分らしく」働ける場所を一緒に見つけることができた。
- ・生活課題を基に複合的な問題が重なり合っているため、「核心の問題点」や「解決策」にたどり着くことが困難なケースがあった。
- ・発達障害の境界やグレーゾーン、知的障害の境界に該当するケースが多く、障害福祉に関する専門性は必須である。
- ・就労準備支援事業そのものが、地域社会に浸透していない。(特に福井市、あわら市)

以上



坂井地区障がい者基幹相談支援センター コンセプト

障がいのある方がその人らしく地域で暮らすために

1. 重点目標・課題

(1) 重点目標

- ・地域における支援体制を強化することで障害のある方の生活を間接的に支援する。
- ・障害のある方を含めた誰もがその人らしく地域で暮らせる地域づくりに寄与する。

(2) 目標に対する取り組み

- ①地域の相談支援体制強化
- ②地域移行・地域定着の促進
- ③権利擁護・虐待防止に関する取り組み
- ④坂井地区障害児・者総合支援協議会の運営
- ⑤障がい者等の就労、就業に関わる相談対応や企業との連携

2. 事業・活動実施に当たっての具体的な取り組み

(1) 総合的・専門的な相談支援の実施

①当事者・家族等からの相談対応

個別で受けた相談に対し特定相談支援事業所、委託相談支援事業所へ引継ぎ、面談の同席、ケース会議への参加、定期的状況確認をおこなった

②困難ケース等への初動対応

複合的課題を抱えた世帯のケースや居住地が定まっていないケース等、委託相談支援事業所や特定相談支援事業所等が関わりづらいケースに関して初回面談等の初動対応を行った。

③障がい者等の一般就労に関わる相談対応

企業への訪問による障がい者雇用の理解促進

見学の段取り、同行、就労に向けた調整を行った。

④包括的な相談支援

相談を受けたケースが障がい分野以外に関する内容であっても相談を受け専

門機関につなげる対応（ワンストップ対応）を心掛け、適切な分野への引継ぎを行った。

⑤委託相談支援事業所、特定相談支援事業所の側面的支援

委託連絡会の定期開催。特定相談事業所が担当する困難ケースの面談同行や会議に同席した。

(2) 地域の相談支援体制強化の取組

①特定相談支援事業所への巡回訪問による業務状況の共有・把握。

困難ケースの共有、アドバイス。

相談支援業務や制度、研修課題等に関する助言等

②委託相談支援事業所との連携

毎月1回坂井地区内の委託相談支援事業所と連絡会を開催し、各事業所の状況報告等を行い、密に連携を図った。

③他分野との連携

医療・保健・介護・保育・教育・労働・司法・自立支援等の他分野との連携を図り、他分野主催の研修に積極的に参加した。

就労・就業支援事業では労働分野、教育分野と連携した個別ケース支援、労働分野と連携した就労実習先企業の開拓等をおこなった。

④民生児童委員との連携

各地区の民児協総会等に研修講師として参加。

⑤相談支援の質の向上

相談支援関係研修のWTのメンバーとして参加

福井相談支援専門員協会の運営メンバーとして参加

⑥その他

- ・坂井市相談支援体制包括化推進会議への参画
- ・坂井市ひきこもり支援情報交換会への参画
- ・坂井市高齢者等消費者被害防止見守りネットワーク連絡会への参画など

(3) 地域移行・地域定着の促進

①障害者支援施設や精神科病院等への地域移行に関する支援や普及啓発

②地域生活を支えるための体制整備

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの研修への参加  
地域生活支援拠点整備の検証委員会の開催

(4) 権利擁護・虐待防止に関する取組

協議会権利擁護部会等を活用した啓発活動

(5) 坂井地区障害児・者総合支援協議会の運営

①代表者・実務者・運営会議の開催

代表者会議を年1回、実務者会議を年2回、運営会議を毎月開催。

②各専門部会の運営・参画

権利擁護部会は支援機関として、就労支援部会・児童支援部会・精神障害者支援部会は事務局として運営に関わる。

③相談支援事業所連絡会の運営

相談支援事業所連絡会を毎月開催する。月ごとに情報共有の回と事例検討の回を定め交互に実施する。

(6) 地域生活支援拠点等事業に関する取組

- ・ 検証委員会を年2回開催。
- ・ 「体験の場・機会」についてニーズ調査の検討、実態調査を実施。
- ・ 緊急時の受け入れ・対応

行政、相談支援事業所との事案の共有。迅速な対応を求められ、関係機関の協力により対応にあたった。

(7) 職員研修計画

①法定研修の受講

- ・ サービス管理責任者更新研修
- ・ 精神保健福祉従事者研修

②その他

・ 日本相談支援専門員協会主催研修（基幹研修、相談支援ネットワーク研修会等）

## 5. 地域貢献活動

- ・ ソーシャルワーク実習受入

## 6. その他

- ・ 県自立支援協議会ネットワーク連絡会への参加
- ・ 県主催相談支援従事者養成研修企画立案と運営（演習講師等）での参加

## 令和4年度 基幹相談支援 活動報告

月	日	記 事
4		
5	21	県相談支援専門員協会 総会・研修会
	24、30、31	ファシリテーション研修(講師)
6	15	県サービス管理責任者更新研修 A日程
	15	県ホームヘルパーサービス事業者協議会研修(講師)
	29、30	相談支援従事者指導者指導者養成研修 1日目、2日目
7	1	相談支援従事者指導者指導者養成研修 3日目
	5	県サービス管理責任者更新研修 B日程
	20、21	県相談支援従事者初任者研修 (講師)
	21	県立大学社会福祉学科 講義ゲストスピーカー
	23	社会福祉士実習指導者養成研修 1日目
	23	トゥモロズリ訪問看護 勉強会(講師)
8		
9	13	相談支援従事者指導者指導者養成研修 (専門別研修 意思決定支援)
	15	坂井地区特別支援教育コーディネーター連絡協議会研修(講師)
	20	医療的ケア児等コーディネーター地域連絡協議会
	21	こころとからだクリニック ディケア(講師)
	30	令和4年度坂井地区第1回実務者会議
10	6、7	県相談支援従事者初任者研修 4日目、5日目(講師)
	20	坂井市ひきこもり・不登校支援連絡会
	21	あわら市ケアマネ支援会議研修会(講師)
11	22	県自立支援協議会権利擁護部会
	25	三国・春江地区合同研修会(講師)
12	9	県地域生活定着支援センター研修会
	16	県精神保険福祉従事者研修・現任
	20	医療的ケア児等コーディネーター地域連携協議会
1	11	県相談支援専門員協会 基幹・委託連絡協議会
	13、24	県相談支援従事者主任研修 1日目、2日目(講師)
	18	坂井市社協ヘルパーステーション研修会(講師)
	19	県相談支援従事者現任者研修3日目(講師)
	20	坂井市障害福祉計画検証会議
2	1、2、3	医療的ケア等コーディネーター養成研修(講師)
	16	県相談支援従事者主任研修 3日目(講師)
	21	県自立支援協議会ネットワーク連絡会
	22	高齢発達障害に関する研究 福井ワーキング
	22	丹南地区協議会 全体会研修会(講師)
3	6、7	県相談支援従事者主任研修4日目、5日目(研修)
	15	坂井地区相談支援事業報告会
	20	坂井市相談支援事業所集団指導説明会
	23	令和4年度坂井地区第2回実務者会議
	25	県相談支援専門員協会 研修会

毎月第1木曜 拡大サポート会議

毎月第3水曜 坂井地区相談支援事業所連絡会

